

# 観光 案内所80カ所増加

## 訪日 JNTO 年度内、登録呼びかけ

国際観光振興機構（JNTO）は二〇〇七年度中に外国人観光客に対応できる案内所「ピジット・ジャパン案内所」の登録数を八十カ所増やす。既存の観光案内所だけでなく、主要駅や宿泊施設、商業施設などに幅広く参加を呼び掛ける。アジア地域を中心に増加している訪日観光客の受け皿づくりを急ぐ。

今年度の重点地区として、北海道の観光関連施設のほか、世界遺産登録地区や周辺地域を掲げた。これまでにすでに富良野市のスキー場などの新規登録があったとい

ピジット・ジャパン案内所は英語の対応が可能で、訪日観光客の受け入れに積極的であることなどを登録の基準としている。今年三月末の登録数は百五十五カ所。JNTOは訪日観光客への認知度を高めるため、海外事務所やインターネットを活用した情報発信にも取り組んでいる。海外からの訪日客はここ数年伸び続けており、〇六年は七百三十三万人とその前の年に比べ九・〇%増えた。JNTOの試算によると、政府が目標に掲げる二〇一〇年に「一千万」が達成された場合、経済波及効果は五兆八千億円に上るとい

う。